

## かわさき区の宝物シート

宝物No.	ゆうびんさしだしばこ1ごう(まるがたぼすと)
1-10	<b>郵便差出箱1号(丸型ポスト)</b>

エリア	中央地区	シーズン	通年
	川崎駅前北	日時	

目的	<input checked="" type="checkbox"/> 観る <input type="checkbox"/> 遊ぶ・体験する <input type="checkbox"/> 食べる <input type="checkbox"/> その他
宝物定義	<input type="checkbox"/> ものづくり <input type="checkbox"/> イベント・祭り <input type="checkbox"/> 味づくり <input type="checkbox"/> にぎわい <input type="checkbox"/> 現代の文化的なもの <input type="checkbox"/> 港めぐり <input checked="" type="checkbox"/> 歴史的なもの <input type="checkbox"/> 人物



川崎小学校前の2号ポスト



#REF!

所在地	川崎区砂子1-4-10 (砂子の里資料館(休館)前) 川崎区日進町20-1 (川崎小学校正門前)
問い合わせ	
TEL	
FAX	
E-mail	
URL	
交通	京急川崎駅より徒歩5分(砂子の里資料館(休館)前) JR川崎駅より徒歩10分(川崎小学校正門前)



### 基礎情報

■平成17年(2005)3月10日、昔懐かしい丸型郵便ポストが復活した。川崎市内では十数年前から見られなくなっていたが、市立向小学校に保管されていたものを譲り受け、川崎中央郵便局の全面的な協力のもと、砂子の里資料館(休館)前に実際の郵便ポストとして設置した。

### 由来・エピソード

■丸型ポストは、昭和40年代までは全国的に主流であったが、今では生産中止となり入手が非常に難しくなっている。川崎市立向小学校の校庭に寄贈された丸型ポストがあることを知った「東海道川崎宿2023」メンバーが古い街並みイメージの復元に少しでも寄与しようと、同校の大畑校長にお願いして譲り受けた。郵便ポストとしての運用に耐えられるように、再塗装などを行って復活させた。

■丸型ポストは、現在でも全国で約5千本が使用されているが、再利用した例はない。当初は川崎中央郵便局も戸惑いがあったようだが、最終的には設置場所の検討を共同で行い、実際の郵便ポストとしての運用を決定するなど、全面的な協力をいただいた。

■開設式では、川崎中央郵便局長、向小学校校長、宮前小学校校長、砂子の里資料館館長、川崎区長などが参加して除幕を行い、向小学校と設置場所の学区である宮前小学校の代表児童と齋藤館長と一緒に初投函を行った。

### 補足・その他

■砂子の里資料館前に続き、平成18年(2006)3月には川崎小学校正門前にも「丸型ポスト」が設置された。これは、秦野市にあったものを譲り受けたものである。

### 関連シート

(1-9)川崎・砂子の里資料館